

DTC 解説

DTC P1857: 傾斜センサ回路天絡

検知原理解説



01_P0501C_TM8A00

傾斜センサは、平坦路や登板路など路面の勾配を検知し、PGM-FI ECU に出力している。
PGM-FI ECU は、スロットル開度センサやブレーキスイッチ信号などの入力から演算した傾斜値と傾斜センサからの勾配入力値を比較し、誤差を補正した走行情報をメモリすることにより、最適なクリープ制御を行っている。
停車状態で傾斜センサの出力電圧が規定値を超えた状態で規定時間以上継続した場合、PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	3 秒間以上
検知手法種別	2D/C(2 連続検知手法)、PGM-FI 警告灯： 消灯、D 表示灯： 点滅
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	
車両の状態	停車中
当該 DTC の検知禁止要求を行う DTC	P0500、P0502、P16C0、P1855、P1856

故障判定基準

傾斜センサ出力電圧 [傾斜センサ出力電圧] が 4.76V 超過の状態 で 3 秒間以上継続した場合。

[]: HDS パラメータ

推定故障部位

- ・ PGM-FI ECU と傾斜センサ間コード (SLOPE ライン) の電源短絡
- ・ PGM-FI ECU と傾斜センサ間コード (SG ライン) の電源短絡
- ・ 傾斜センサ内部回路の故障
- ・ PGM-FI ECU 内部回路の故障

DTC 解説

再現テスト手法

HDS を使用する方法

なし。

実際の代表的テスト走行による方法

1. イグニッションスイッチを ON にする。
2. 停車状態で 3 秒間以上待機する。
3. イグニッションスイッチを OFF にする。
4. ステップ 1 から 3 を繰り返す。

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC がストアされる。次回の D/C において同一の故障が検知 (2 連続検知) されると PGM-FI 警告灯が点灯することなく、D 表示灯が点滅し、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより D 表示灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。